

# 平成23年度「第35回全日本少年サッカー大会」兼「第35回関東少年サッカー大会」

## 山梨県大会 開催要項

主 催	(財)日本サッカー協会／(財)日本体育協会日本スポーツ少年団／読売新聞社
後 援	日本テレビ放送網／報知新聞社／山梨放送／山梨県教育委員会
特別協賛社	コカ・コーラ セントラル ジャパン／YKK／花王
協 賛 社	日清オイリオグループ／ゼビオ／日本マクドナルド／ゆうちょ銀行
主 管	社団法人山梨県サッカー協会4種少年委員会

- 開催日 地区予選 平成23年5月14日(土)～5月29日(日)  
中央大会 " 6月5日(日)・12日(日)・18日(土)19日(日)
- 中央大会日程 6月 5日(日)予選リーグ戦1日目 [下吉田第二小学校、河口湖町民G]  
12日(日)予選リーグ戦2日目 [下吉田第二小学校、山中湖きららG]  
18日(土)決勝トナメント 準々決勝・準決勝 [都留やまびこ陸上競技場]  
19日(日)3位決定戦・決勝戦、閉会式 [押原公園天然芝グラウンド]  
10:00～ 11:30～ 12:30～
- 運営担当 峡東・郡内【最終日は、役員および事業運営部員および勝ち残った4チームから各一人ずつ】
- 参加資格 ①日本サッカー協会4種及び5種登録済みのチームと選手であること。(複数エントリーは出来ません)  
(12才以下の女子及び女子チームの参加も可能)  
②スポーツ傷害保険に加入済みの選手であること。
- 大会規則  
①(財)日本サッカー協会「8人制サッカールール」による。(一部ローカルルールを適用する。)  
②選手の登録は16名以内、交代は8名以内とする。ベンチ入り人数は制限しない。全試合メンバー表を試合開始30分前までに提出するものとする。自由な交代を適用しリエントリーを認める。交代票は使わずにビブスで代用するが、事前に主審に通知した上での交代とする。  
③ベンチ入り指導者は3名までとし、試合中の指示は一人(特定ではない)が立って行う。  
④ベンチサイドは、組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側。  
⑤選手証の提示を必要とする。地区予選および中央大会1・2日目は会場当番チームがメンバー表に記載された氏名と選手証と本人を照合(1試合目のみ、照合後直ちに返却)し、3日目と最終日は事業運営部がメンバー表・選手証と本人を照合(全試合)する。選手証に不備(不携帯、写真不貼付等)があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。その場合、0-5の不戦敗とする。  
⑥退場処分または累積警告3回を受けた選手は、次の1試合出場停止とする。審判報告書を使用して次の試合の審判に申し送る。退場者の補充をすることができる。地区予選の退場・警告は中央大会に引き継がない。  
⑦競技者の用具は、「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従う。シューズは固定式ポイントとし、すね当てを着用すること。
- 試合方法  
①地区予選を行い、中央大会を20チームで行う。20チームを5チームずつの4パートに分けリーグ戦を行い、各パート上位2チームの計8チームがトーナメント戦を行う。  
②代表枠は、各地区の登録チーム数に比例させ、甲府5.5・峡北2.5・峡中5.5・峡東郡内6.5とし、甲府6位・峡北3位・峡中6位・峡東郡内7位でプレーオフを行う。(5月29日・会場未定;担当峡北)  
③地区予選の方法は原則的には各地区に任せるが、リーグ戦とシードを採用すること。  
④中央大会の組み合わせは理事会で決定する。  
⑤試合時間は20分-5分-20分とする。ただしトーナメント戦で同点の時は5分2回の延長戦を行い、決しない場合はPK戦方式による。  
⑥リーグ戦での順位決定は、1:勝点(勝=3、分=1、敗=0)、2:得失点差、3:総得点、4:直接対戦、5:抽選、の順による。  
⑦試合球は4号検定皮製ボールを使用する。(中央大会3日目・最終日は4種委員会準備)  
⑧審判は、1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。参加チームは必ず2名以上帯同し、審判着を上下着用しワッペンをつける。審判証の提示を必要とする。中央大会第1日、第2日は別表割当てによる。中央大会第3日からは全て審判部が担当する。
- 上位大会への出場  
①優勝チームは、全日本少年サッカー大会(8人制)への出場権を得るものとする。  
②2位から4位までのチームは、関東少年サッカー大会(11人制)への出場権を得るものとする。  
③準々決勝敗退の4チームは、北関東少年サッカー大会(仮称)(11人制)への出場権を得るものとする。(順位は抽選で決める。)
- その他 ①雨天実施とする。  
②会場設営、試合・閉会式の運営等は、運営担当地区の責任のもとに行う。  
③会場責任者は試合結果に誤りのないことを確認の上、試合終了後直ちに下記に連絡すること

### 問い合わせ先

堀内正明(広報部員) TEL・FAX 0553-23-4386  
委員長 石原幸周 090-4950-2300  
大会責任者 広瀬小吉 090-8686-9632  
大会責任者 小笠原一郎 090-2536-3160  
事業運営部長 三科健二郎 090-2255-1595

### 閉会式・表彰式

### 司会(運営担当地区)

- 成績発表 (事業運営部長)
- 表彰 (県サッカー協会、読売新聞社、日本スポーツ少年団)
- 特別協賛社賞発表・表彰 (コカ・コーラ セントラル ジャパン、YKK、花王、ゼビオ、日本マクドナルド、ゆうちょ銀行)
- あいさつ (県サッカー協会会長、読売新聞社代表)
- 講評 (県サッカー協会4種委員長)

## 全少・関東山梨県大会 大会規則<追記>

### 1 競技のフィールド

- ①フィールドの大きさ（タッチライン）は、68m、幅（ゴールライン）は、50mを推奨する。  
（地区大会ではタッチライン60～68m、ゴールライン40～50mの範囲内で可能とする）
- ②その他のサイズは11人制と同様とする

### 2 競技者の数及び交代

- ①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ②試合開始時に8人に満たない場合の試合は成立しない。その場合0-5の不戦敗とする。
- ③本大会は4人制審判で行うため、交代手続きはこれまで通り主審に通告し、アウトオブプレー中での交代とする。（交代ゾーンは設けない）

### 3 テクニカルエリア

- ①ベンチ入り選手の人数は問わないが、試合に支障が無いよう控え選手の後ろにベンチを設置する。

### 4 試合時間

- ①試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは選手の休息時間を5分確保する。

### 5 PK方式

- ①中央大会での決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合、5分2回の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式において決する。（両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち両チームの得点と同じ場合は、サドンデスとなる同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。）
- ②PKの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。
- ③上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみPKを行う資格がある。
- ④試合が終了し、PKを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。  
チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はPKに参加することはできない。

### 6 警告・退場

- ①競技者が退場処分を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- ②暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。